



地域学校協働活動のすすめ



社会教育課

少子高齢化や急速な技術革新等により、子供を取り巻く環境が大きく変化する中で、社会総掛かりによる教育が重要になっています。

地域学校協働活動とは、地域と学校が相互にパートナーとして、双方向に連携・協働して行う様々な活動です。

地域学校協働活動により、**未来を担う子供たちが、地域に愛着を持ち、地域に貢献したいと考える人材を育成**していきます。

これらの理念を推進していくために、熊本県教育委員会では、「地域学校協働活動のすすめ」と題したリーフレット（A3版表裏）を平成30年8月に作成しました。

内容は、「地域学校協働活動の事例や効果」「地域学校協働本部の設置」「地域学校協働活動推進員」等をコンパクトにまとめています。

各地域、各学校の実情に応じた地域学校協働活動に取り組むことで、『**地域とともにある学校づくり**』『**学校を核とした地域づくり**』を推進していただきたいと思ひます。



地域の祭りに参加し裏方として貢献する小学生



地域の独居老人宅に花の苗を届けて交流を続ける小学生

地域学校協働活動のすすめ



中教審答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」（平成27年12月21日）

「誰かが何とかがしてくれるのではなく、自分たちが『当事者』として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい、元氣な地域を創りたい、そんな『志』が集まる学校、地域が創られ、そこから子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの姿である。」



@リーフレット掲載場所…熊本県教育委員会 HP⇒生涯学習⇒地域学校協働活動